

加藤眠柳 かとう ねりゅう 小説家、新聞記者。明治二年九月十八日美濃國生れ。大正十年十一月二十三日歿（八六—八九）。本名米司。筆名眠柳等入。明治二十年代から三十年代に懸けて八年程『東京朝日新聞』記者。その後一時畠山房に入社、次で北海道に渡り明治末年小樽新聞社に入りて社會部長となるも、大正九年獨をして『新小樽』を創刊。失敗して『函館毎日新聞』主筆に轉じ、心臓病で遂死した。

譯者ハ、ゴールドスマス作『替素儉約の話』（堺枯川編、明治二十六年一月二十八日内外出版協會「家庭夜話」）、『女子と志編』（明治二十七年十月十日内外出版協會）等。